

# ムンバイ日本人学校再開へ向けた保護者アンケート 集計結果のお知らせ

アンケート回収率・・・32家庭中32家庭(100%)

- (1) 一時帰国者 26人 (81%)  
駐在者 6人 (19%)

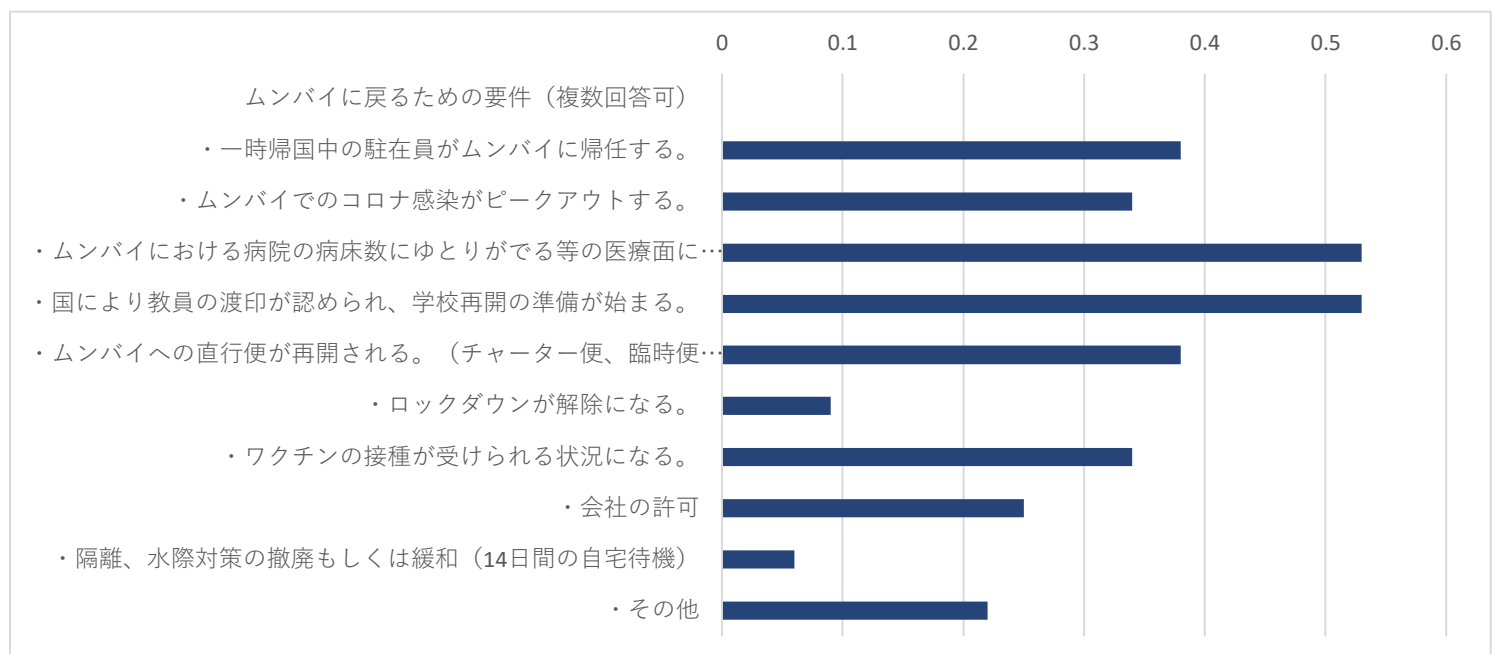
※現在約8割の駐在員が日本に一時帰国している。

- (3) 次年度在籍の予定(44人中)  
有 36人  
未定 6人  
無 2人

※約8割の児童生徒が、ムンバイ日本人学校が再開したら編入学する意思をもっている。  
ムンバイに駐在している駐在員は、日本人学校が再開すれば全員、妻子を呼び寄せることを考えておられる。今一時帰国している駐在員のうち、約7割の子どもたちが会社からの許可がおりれば、ムンバイ日本人学校に戻る予定をしている。

- (4) ムンバイに戻るための要件(複数回答可)

|   |     |     |
|---|-----|-----|
| ・一時帰国中の駐在員がムンバイに帰任する。   | 38% | 12人 |
| ・ムンバイでのコロナ感染がピークアウトする。  | 34% | 11人 |
| ・ムンバイにおける病院の病床数にゆとりがでる等の医療面における改善。  | 53% | 17人 |
| ・国により教員の渡印が認められ、学校再開の準備が始まる。  | 53% | 17人 |
| ・ムンバイへの直行便が再開される。(チャーター便、臨時便を含む)  | 38% | 12人 |
| ・ロックダウンが解除になる。  | 9%  | 3人  |
| ・ワクチンの接種が受けられる状況になる。  | 34% | 11人 |
| ・会社の許可  | 25% | 8人  |
| ・隔離、水際対策の撤廃もしくは緩和(14日間の自宅待機)  | 6%  | 2人  |
| ・その他  | 22% | 7人  |
| ・インドの教育機関の通常再開・家族のビザの発行・手続きの正常化<br>・国内の主要交通網の正常化・出入国の正常化<br>・日本人学校に一定の児童が戻る・学校外での活動(習い事)の再開 |     |     |



※駐在員が家族を呼び寄せる主要因に、日本人学校の再開と、医療体制の改善が挙げられている。

※保護者にとって、渡航には日本人学校の再開が必要条件だと思っておられる方が大半である

※約2割の駐在員が会社判断を挙げておられるが、おおかたの駐在員は、上記の条件を満たしたうえで、会社判断により妻子のムンバイへの渡航が可能になるのではないかと推察される。

(5) その他

- ・日本人学校の再開に向け協力したい。
- ・ムンバイ渡航、滞在保留は日本人学校再開が条件
- ・子どもはムンバイに戻ることを強く希望。日本人学校での学習を楽しみにしている。
- ・Unlockdown5.0にムンバイにおいてもインドの学校が再開されるのであれば、それに合わせて日本人学校の早期再開を考慮頂きたい。
- ・コロナが廃絶された社会はもはや望むべくもなく、新たな生活様式のもとで日常を再開するべきと考えている。
- ・オンライン授業の区切りを考慮したい
- ・会社の帯同許可がおりなければ、単身赴任もありうる。
- ・先生方も大変だとは思いますが、健康に気をつけて、学校再開に向け動いてほしい。
- ・学校再開の際には、コロナ感染症対策など、保護者と学校側で、協議の場をもち、万全の策をうってほしい。(空気清浄機の増設など)
- ・ムンバイ周辺の日本人教育の中核として、学校の存続を強く希望する。
- ・開校状況等で、現行のまま現地校を継続する可能性もある。
- ・ムンバイ日本人学校が通常通り復活することがある程度見えてこないとならば再渡航の決心ができない。
- ・帰れるものなら帰りたいが、先の見通し(駐在としてもどれるかどうか)が全くわからない。

※多くの方が、日本人学校の再開に期待を寄せておられる。妻子の呼び寄せ(帯同)に、日本人学校の存続は不可欠である。